

東京都知事 舛添 要一 様

多摩都市モノレール町田方面への延伸について（要望）

2014年12月16日

多摩都市モノレール町田方面延伸促進協議会

会長 町田市長 石坂 丈一

多摩都市モノレール町田方面への延伸について（要望）

寒冷の候、貴職におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

私ども「多摩都市モノレール町田方面延伸促進協議会」は、町田市の市民、議会、行政が一体となって、産業経済の発展と市民生活の向上に資する多摩都市モノレールの延伸を目指し、2013年2月に設立した団体です。

さて、貴職が2014年3月に策定されました「新たな多摩のビジョン行動戦略」においては、「ビジョンが目指す多摩の姿」のひとつとして「東西方向、南北方向への道路整備や公共交通機関の充実により、多摩地域内はもとより、区部や隣接県を結ぶ交通アクセスが円滑化し、人やモノが自由・活発に移動できる社会が形成されている。」ことが挙げられております。また、その実現に向けた行動戦略として「地域の内外を結び多摩を支える道路ネットワークの整備」と「公共交通ネットワークの充実と快適な交通環境整備の促進」が示されております。

町田市は、東京都心や横浜市中心部と鉄道で30分から40分程度の位置にあり、また市内には東名高速道路の横浜町田インターチェンジや国道16号があるため、首都圏や全国の各都市への交通アクセスにも優れております。このようなことから、古くから交通、物流の要衝を担い、商都として発展してきた都市であり、今後も「ビジョンが目指す多摩の姿」を具現化し得る都市のひとつとして、更なる発展を遂げる可能性を有しております。

しかしながら、町田市と多摩地域の他都市を結ぶ公共交通網や道路網は依然として未整備の部分が多く、とりわけ南北を結ぶ幹線道路は現在、鎌倉街道一本に頼っている状態です。このため最も密接であるべき多摩地域の自治体との連携は不十分と言わざるを得ません。また市内においては、鉄道駅は全て外縁部に位置しており、超高齢社会においても誰もが移動し易くするためには、新たな公共交通システムの構築が喫緊の課題となっています。

多摩都市モノレールの町田方面への延伸とその導入空間となりうる都市計画道路の整備は、これら町田市の課題を解決するだけでなく、多摩地域における交通ネットワークを格段に充実させ、地域全体の発展に大きく寄与するものであると確信しております。多摩地域の交通ネットワークの充実は広域行政を担当する東京都の責務であり、その取り組みに大いに期待を寄せております。

本年5月7日には、国土交通大臣からの諮問を受け、交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会が開催され、東京圏における今後の都市鉄道のあり方についての検討が開始されました。ここでは2000年の運輸政策審議会答申第18号「東京圏における高速鉄道に関する基本計画について」の見直しがなされるものと存じます。

現在、「今後整備について検討すべき路線」に位置付けられている多摩都市モノレールの町田方面延伸路線が、次期交通政策審議会答申において、整備が推進されるような位置付けとなり、1日も早く延伸が実現しますよう、貴職の特段のご配慮を賜りたくお願い申し上げます。